

# 消防署隊と連携して！

七月十三日(日)梅雨の晴れ間の日曜日に消防署裏庭に於いて、入団間もない十三人の団員を対象に消防体験実習が行われました。

武松団長、中島警防課長の挨拶に続き、各団員は特別救助隊班、はしご隊班、化学ポンプ車隊班にそれぞれ分かれ、各任務の説明を受けた後、火災現場における三連梯子の搬送方法や梯子の伸ばし方などを熱心に担当の消防署員から教えてもらいました。

引き続き、特殊防護服の説明とホースの伸ばし方や放水要領の指導を受けました。そんな折、災害発生の通報が入り、消防署員と共にポンプ車とレスキュー車にそれぞれ乗り込み、災害現場に出場し、活動を行うという画期的な本番体験をした団員もいました。訓練の最後は、はしご車に体験乗車し、梯子の最上段まで上昇し下降する訓練をして体験実習を終了しました。

当日は、気温がどんどん上昇し、三二度という、うだるような暑さの中、参加団員は汗だくになりながらも充実した訓練を受けていました。最後に、大塩副団長から「本日の訓練の成果を日頃の消防団活動に生かせるよう頑張ってください。」旨の挨拶で体験実習を無事終了いたしました。

キュー車にそれぞれ乗り込み、災害現場に出場し、活動を行うという画期的な本番体験をした団員もいました。訓練の最後は、はしご車に体験乗車し、梯子の最上段まで上昇し下降する訓練をして体験実習を終了しました。

当日は、気温がどんどん上昇し、三二度という、うだるような暑さの中、参加団員は汗だくになりながらも充実した訓練を受けていました。最後に、大塩副団長から「本日の訓練の成果を日頃の消防団活動に生かせるよう頑張ってください。」旨の挨拶で体験実習を無事終了いたしました。

最後に、大塩副団長から「本日の訓練の成果を日頃の消防団活動に生かせるよう頑張ってください。」旨の挨拶で体験実習を無事終了いたしました。

最後に、大塩副団長から「本日の訓練の成果を日頃の消防団活動に生かせるよう頑張ってください。」旨の挨拶で体験実習を無事終了いたしました。

## 江戸川消防署防災フェア開催

江戸川消防署では「春の火災予防運動」にあわせて、三月一日(土)小松川出張所において、また二日(日)江戸川消防署において防災フェアを行いました。

消防団コーナーでは、新入団員の募集活動と、第八分団に配置された新型可搬ポンプの展示も行われました。

江戸川消防署では「春の火災予防運動」にあわせて、三月一日(土)小松川出張所において、また二日(日)江戸川消防署において防災フェアを行いました。これは、消防署と消防団が連携して、都民の皆さんに消防行政、消防団について理解して頂くという趣旨で行われたもので、ポンプ車、はしご車などの体験乗車、救助資機材の展示などがありました。中でも、はしご車の体験乗車やポンプ車の放水体験、煙体験には、人気が集まり、多くの家族連れや子ども達の真剣に取り組み姿が見られました。また、会場には、住宅用火災警報器の展示やAED(自動体外式除細動器)を実際に使う救命体験コーナーなどもありました。



## 江戸川区総合水防訓練

平成二〇年五月八日(木)平井六丁目荒川河川敷において、江戸川区総合水防訓練が行われました。これは江戸川区と江戸川区区内三消防署(江戸川、小岩、葛西)と三消防団(江戸川、小岩、葛西)がこれから迎える水災害の時期を前に行われたもので、堤防の決壊や低い地域への浸水を防ぐ「積み土のう工法」やマンホールからの吹き上げを防ぐ、「かまつき工法」、月の輪工法などの訓練を行いました。

江戸川消防団からは四〇人の団員が五月の陽気としては暑い中、訓練に望み、水災害発生時の活動に備えました。また、東京消防庁のヘリコプターによる救助活動も行われ訓練を終了いたしました。



消防車両の説明



三連ばしご搬送訓練

## 小松川平井地区防災訓練

七月六日(日)第二六回小松川平井地区総合防災訓練が大島小松川公園自由の広場で約三〇〇名が参加して行われました。住民は午前八時に一次避難場所の各小中学校へ集合し、その後広域避難場所である自由の広場へ徒歩で集合して、煙体験、応急救護、パケツリレーなど各訓練を消防署員、消防団員、ボランティアの指導のもと実施され、参加者は真剣に取り組んでおりました。



# 地域を守る仲間募集中

## 江戸川消防団

### 問合せ3656-1555

## 活動だより

### 東京国際防災展を視察

江戸川消防団では、六月八日武松団長以下、幹部二〇名が、東京ビックサイトで開催されていた、東京国際消防防災展2008を視察しました。当日は、日曜日ということもあり、一般の見学者も多く、各企業が出品している新作の消防防災機器を落ち着いて見ることも出来ないような状況の中で、参加幹部の目を惹いたのは、最新型のポンプ搬送車のようでした。

## つけましたか？ 住宅用火災警報器

大規模工場の防災訓練に参加  
七月十六日(水)平井七丁目にあるライオン東京工場で防災訓練が行われました。平井地区の大規模工場ということもあり従業員のほか、消防署と第二分団員が参加して行われ、はしご車を使って五階からの人命救助や放水訓練など本番さながらの訓練が行われました。

### 火災による死者発生

七月十九日(土)午後十一時ごろ江戸川区平井四丁目住宅火災が発生し、この火災により二名の方が亡くなりました。この火災現場には、武松団長以下第一・第二分団を中心に二五名の消防団員が消防隊と連携して消火活動などを行いました。

## 分団紹介 第二分団



一木分団長

わが第二分団担当地域は、JR平井駅を中心に総武線より北側の荒川と旧中川に囲まれた、平井五、七丁目の五町会、五自治会の商店街および住宅地が受け持ち地区です。一木分団長以下二三名の団員で編成されていて、災害時の活動をはじめ、地域の行事(防災訓練、運動会、青年カーニバル、ふるさとまつり等)に参加して活動しております。今後も、各町会と連携を図りながら、災害の少ない地域創りに努めてまいります。

### 編集後記

昨年に藍綬褒章を受賞されました安井孝雄副団長より江戸川消防団に大型液晶テレビ、超大型カラープリンター、ノートパソコン3台、GPS付デジタルカメラが寄贈されました。広報委員会では今回の広報紙の編集においてもパソコンを利用しております。ありがとうございました。

